

8. 累積相対度数：ある階級以下の相対度数を合計したもの

## 2 代表値 (P.15)

度数分布表，ヒストグラム：統計データを整理し，母集団に関する情報を得る一つの方法。

分布の状態を数値で表したい。

代表値：データを代表する値  $\implies$  平均値，分散，標準偏差，中央値 (メディアン)，最頻値 (モード)，…

## 2.1 平均値 (P.16)

$n$  個のデータ :  $x_1, x_2, \dots, x_n$

算術平均 (P.16) :

$$\bar{x} = \frac{1}{n}(x_1 + x_2 + \dots + x_n) = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$$

表 1.3 (P.7) のデータから

$$\bar{x} = \frac{1}{20}(4.3 + 5.2 + \dots + 5.9) = 5.53$$

となる。

加重平均 (P.16) :

階級値	階級境界値 (以上) (未満)	度数
$m_1$	$a_0 \sim a_1$	$f_1$
$m_2$	$a_1 \sim a_2$	$f_2$
$\vdots$	$\vdots$	$\vdots$
$m_k$	$a_{k-1} \sim a_k$	$f_k$
	合計	$n$

ただし,  $m_1 = \frac{a_0 + a_1}{2}$ ,  $m_2 = \frac{a_1 + a_2}{2}$ ,  $\dots$ ,  $m_k = \frac{a_{k-1} + a_k}{2}$  とする。

上のような度数分布表が利用可能なとき，

$$\bar{x} = \frac{1}{n}(f_1m_1 + f_2m_2 + \cdots + f_k m_k) = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i m_i$$

として，平均値を計算することが出来る。⇒ 加重平均 (各階級値を度数でウエイトづけして平均したもの)

$$\bar{x} = \sum_{i=1}^k \frac{f_i}{n} m_i$$

$\frac{f_i}{n}$  は相対度数である。

上の表のデータの平均を求めると，

$$\bar{x} = \frac{1}{20}(2 \times 3.45 + 3 \times 4.45)$$

$$\begin{aligned} &+8 \times 5.45 + 5 \times 6.45 + 2 \times 7.45) \\ &= 5.55 \end{aligned}$$

階級の幅の選び方によって，多少，値は異なる。

## 2.2 分散，標準偏差 (P.20)

分散，標準偏差：データの散らばり具合を表す

分散，標準偏差が大きければ，データの存在する範囲が広い

標準偏差 = 分散の平方根

分散 ( $s^2$  で表す) の定義 :

$$\begin{aligned} s^2 &= \frac{1}{n} \left( (x_1 - \bar{x})^2 + (x_2 - \bar{x})^2 + \cdots + (x_n - \bar{x})^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 \end{aligned}$$

ただし,  $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$  とする。

標準偏差 :  $s$

分散の実際の計算には,

$$s^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i^2 - \bar{x}^2$$

を用いる。

なぜなら，

$$\begin{aligned} s^2 &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 \\ &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n (x_i^2 - 2\bar{x}x_i + \bar{x}^2) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^n x_i^2 - 2\bar{x} \sum_{i=1}^n x_i + \sum_{i=1}^n \bar{x}^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^n x_i^2 - 2n\bar{x}^2 + n\bar{x}^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^n x_i^2 - n\bar{x}^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i^2 - \bar{x}^2 \end{aligned}$$

となる。

表 1.3 (P.7) のデータの分散を求めると ,

$$\begin{aligned} s^2 &= \frac{1}{20} \left( (4.3 - 5.53)^2 + (5.2 - 5.53)^2 + \cdots \right. \\ &\quad \left. + (5.9 - 5.53)^2 \right) \\ &= 1.1591 \end{aligned}$$

または ,

$$\begin{aligned} s^2 &= \frac{1}{20} (4.3^2 + 5.2^2 + \cdots + 5.9^2) - 5.53^2 \\ &= 1.1591 \end{aligned}$$

$s = 1.0766$  === > 標準偏差

表 2.1 (P.17) の度数分布表からの計算では ,

$$s^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i(m_i - \bar{x})^2$$

となる。ただし ,  $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i m_i$  とする。

実際の計算には ,

$$s^2 = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i m_i^2 - \bar{x}^2$$

を使う。

なぜなら，

$$\begin{aligned} s^2 &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i(m_i - \bar{x})^2 \\ &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i(m_i^2 - 2\bar{x}m_i + \bar{x}^2) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^k f_i m_i^2 - 2\bar{x} \sum_{i=1}^k f_i m_i + \bar{x}^2 \sum_{i=1}^k f_i \right) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^k f_i m_i^2 - 2n\bar{x}^2 + n\bar{x}^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \left( \sum_{i=1}^k f_i m_i^2 - n\bar{x}^2 \right) \\ &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^k f_i m_i^2 - \bar{x}^2 \end{aligned}$$

となる。

上の表のデータの分散を求めると、

$$\begin{aligned}s^2 &= \frac{1}{20} \left( 2(3.45 - 5.55)^2 + 3(4.45 - 5.55)^2 \right. \\ &\quad + 8(5.45 - 5.55)^2 + 5(6.45 - 5.55)^2 \\ &\quad \left. + 2(7.45 - 5.55)^2 \right) \\ &= 1.19\end{aligned}$$

または、

$$\begin{aligned}s^2 &= \frac{1}{20} (2 \times 3.45^2 + 3 \times 4.45^2 \\ &\quad + 8 \times 5.45^2 + 5 \times 6.45^2 + 2 \times 7.45^2) - 5.55^2 \\ &= 1.19\end{aligned}$$

すなわち,  $s = 1.0909$ ,

## 2.3 範囲, 四分位点, メディアン, モード (P.18)

- 範囲: 最大値 - 最小値
- 四分位点:  
25 % 点 (第 1 四分位点), 50 % 点 (第 2 四分位点), 75 % 点 (第 3 四分位点) のこと
- 四分位範囲: 第 3 四分位点 - 第 1 四分位点
- メディアン (中央値):  
大きい順に並べて, 真ん中の値 (第 2 四分位点) → 表 1.3 (P.7) のデータでは, 大きい順に並べて 10 番目と 11 番目のデータの平均で,  $(5.6 + 5.6)/2 = 5.6$

- モード (最頻値):

最も多い度数の階級値 → 表 1.3 (P.7) のデータでは 5.45 , 階級の幅によって変わる

## 2.4 相関係数 (P.23)

2変数データの組に関する代表値 ⇒ 共分散, 相関係数

例: 100 人の家計からの消費と所得, 身長と体重

$n$  組のデータ  $(x_1, y_1), (x_2, y_2), \dots, (x_n, y_n)$

共分散  $s_{xy}$

$$s_{xy} = \frac{1}{n} \left( (x_1 - \bar{x})(y_1 - \bar{y}) + (x_2 - \bar{x})(y_2 - \bar{y}) \right)$$